

訓子府町議会における「議会改革」の取り組みについて

【なぜ、議会改革を進めるのか】

～議会基本条例制定へ～

訓子府町議会における議会活性化の取り組みは、平成 19 年の改選後から検討が進められ、「議会報告会の開催」「各団体との意見交換会の実施」「長期欠席議員の議員報酬についての議論」を行ってきました。ここまでが本町議会における議会改革の第一ステージといえます。

しかし、町民の皆さんと議会との広く深い溝は、なかなか埋まらない現状がある中で、平成 26 年度「議会活性化特別委員会」において、引き続き協議を進める必要性を確認しました。

平成 27 年の改選を機に新たな議会体制のもとで、これまでの議会活性化の議論も踏まえたより具体的な課題と今後の取り組みの方向性を協議する「議会活性化特別委員会」を再設置しました。

この特別委員会では、「議員研修」や「議会報告会」など課題ごとの協議をはじめ、何よりも「町民の皆さんと向き合い、開かれた信頼される議会」「町民全体の福祉向上と豊かなまちづくりに寄与する議会」を目的とする新たなルール作り（議会基本条例の制定）が必要との認識に立ち、これまで 30 回以上の協議と研修会の開催、視察研修さらには皆さんのご協力を得ながら「議会に関する町民アンケート」を実施させていただきました。

基本条例については、①条例の目的、議会の役割・機能さらには議員活動のあり方 ②議会と執行機関（町）との関係 ③情報公開や町民参加を推進していくための議会と住民との関係の 3 項目を条例の柱として組み立て、併せて議員の政治倫理や条例の評価・見直しをどのように議会改革の中に組み込んでいくのかが議論の論点となります。

本町議会における議会改革の第二ステージといえるのが、議会基本条例制定までのさまざまな議論と取り組みと考えます。

【これまでの主な取り組み経過】

時 期	取 組 内 容
平成 20 年 8 月	議会改革の先進議会である栗山町議会へ視察研修 テーマ：「栗山町議会の議会改革」「栗山町議会基本条例」 ※財政健全化の中でH17年度から中止していた、「進地行政視察」をH20年度から「道内先進地行政視察研修」を再開
平成 22 年度～	これまでの常任委員会による調査に加え、町内の各団体等との意見交換会を開始（以降、毎年度実施中）
平成 24 年 12 月	「議会活性化特別委員会」を設置し、議会改革への協議を開始
平成 25 年 4 月	訓子府町議会として初めての「議会報告会」を実施
平成 26 年 4 月	「議会報告会・懇談会」を実施
平成 27 年 6 月	現在の議会体制での「議会活性化特別委員会」を設置
平成 27 年 8 月	奈井江町・旭川市（民間事業所）へ視察研修 テーマ：「まちづくりについて」
平成 28 年 1 月	「議会懇談会」を実施
平成 28 年 4 月	議会活性化特別委員会内に「議会基本条例研究部会」を設置し、議会基本条例制定に向け、研究・議論を本格的に開始
平成 28 年 5 月	「議会改革シンポジウム」（札幌市）に 2 議員が参加 テーマ：「芽室町議会の議会改革について」
平成 28 年 7 月	講師を招いての議会活性化研修会（第 1 回）を実施 ※議員による研修積立金で実施
平成 28 年 8 月	浦幌町・広尾町へ視察研修 テーマ：「議会改革について」「まちづくりについて」
平成 28 年 9 月	議員が病気などにより長期欠席した場合の、議員報酬・期末手当の減額等について定めた「議会の議員の議員報酬等の特例に関する条例」を制定
平成 28 年 11 月	議会に関する「町民アンケート」を実施
平成 28 年 11 月	道外先進地行政視察として、長野県（飯綱町・小布施町・下諏訪）へ視察研修 テーマ：「議会改革について」「まちづくりについて」
平成 28 年 12 月	講師を招いての議会活性化研修会（第 2 回）を実施 ※議員による研修積立金で実施
平成 29 年 1 月	「議会報告会」を実施

【条例制定が改革の新たなスタートに】

今回、本町議会として初めて実施した「町民アンケート」は、回収率は決して高くはありませんが、皆さんからの貴重なご意見をたくさんいただきました。そのご意見など一つ一つを今後の議会改革および基本条例制定に向けた議論の中で生かしていきたいと思っております。

平成 30 年 3 月までを基本条例制定の目標とし、現議会体制としての任期最後の一年で条例を運用し、見直しを図りながら、町民にとってより良い条例となるよう目標を掲げて、さらなる議会改革に取り組んでいきたいと考えています。

そして、この条例に基づき議会の使命・役割を果たすことが、「町民に信頼される議会」「町民の福祉向上と豊かなまちづくりに寄与する議会」へと改革していく道だと考えています。